
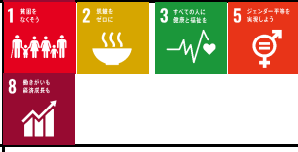


施策コード	1-4
-------	-----

中心所管課	健康推進課
関連所管課	保険年金課／子育て支援課／長寿課 ／福祉課／農林水産課

第1章	笑顔つながる幸せに暮らせるまちづくり -健康・福祉-							
基本施策名	4 健康づくり							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
健康づくりに取り組んでいる人の割合	%	47.7	-	48.2	50.0	52.0		
内臓脂肪症候群該当者の割合	%	24.0	24.8	27.0	15.0	12.0		
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	%	72.5	76.4	76.8	80.0	82.0		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 市民主体による健康づくりの推進	健康づくりボランティア交流会を実施し、活動意欲の向上を図った。また、保健事業はすべて実施することができ、少しずつ対面も行うことができた。	体重測定100日チャレンジへの参加や、職域と連携した取り組みにより、健康に関心が低い人が健康づくりの取り組みを行えるよう支援していく。健康づくりの担い手を増やすため、市民の健康づくり活動への支援を強化する。
2 生活習慣病の発症予防重症化予防の推進	感染症対策を徹底することで健診の受診制限を緩和することができ、健診の受診率は上昇した。一方健診結果では、生活習慣病のハイリスク者が増加した。特定保健指導については、積極的支援の初回実施率は増加した。	各種健診の受診率向上のため、対象者に合わせた受診勧奨を行い、生活習慣病の発症予防に努める。また保健事業等を活用した保健指導を実施し、特定保健指導終了率を向上させる。重症化予防としては、腎臓病ネットワークなどを活用していく。
3 感染症予防の推進	定期予防接種は、定期的に未受診勧奨しているため3歳未満の予防接種の接種率は高い状態を維持している。 新型コロナウイルス感染症について、保健所等関係機関と連携し、感染拡大防止等の対策を実施するとともに市民への適切な情報提供を行った。	就学後に接種する二種混合やヒトパピローマウイルス感染症は接種率が低いため、接種勧奨の方法を検討する。 新型コロナウイルス感染症対策については、国・県等の動向を注視し、制度の変更等に合わせた必要な対策を講じる。
4 切れ目ない母子保健の充実	妊娠・出産・子育てサポート事業を開始した。妊娠届出時・妊娠8か月頃、赤ちゃん訪問時に子育ての情報提供や必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を行い、見通しを持つことで、安心して妊娠・出産・子育てができる体制を整備した。また、市民が子育てに関する情報を収集しやすいように「うーみんな」を改良し、必要な情報をプッシュ型で通知したことで「うーみんな」の登録者が増加した。	関係機関と連携し、早期支援を実施していく。 ゆったりとした気持ちで楽しく子育てができるよう子育て支援サービス及び相談支援を充実していく。

5 食育の推進	第3次食育推進計画の重点目標である朝ごはん推進のための小中学生朝ごはんチャレンジ及び毎月19日の食育の日のSNSなどを使った周知を実施した。計画期間を令和5年度から令和9年度までとした第4次食育推進計画を策定した。	第4次食育推進計画の推進を図るため、食事の普及啓発活動や食育を担う人材育成及びPR活動を推進する。
6 こころの健康づくり	自分や身近な人の心の不調に気づきやすいよう、こころの体温計をホームページに掲載している。妊娠・出産・子どもの健診や教室等でこころの健康状態を聞き相談に応じている。また電話・オンライン等で保健師や心理相談員が相談に応じている。	心の相談は関係機関と連携し支援していく。

個別計画の目標指標								
計画名	健康がまごおり21計画				計画期間	平成26年度～令和6年度		
指標名	単位	策定時	実績値				目標値	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
運動習慣者の割合	%	男性:41.6 女性:36.9	男性:42.6 女性:36.0	男性:40.8 女性:34.3				
健康に関する意識の向上	%	男性:64.9 女性:74.0	男性:66.7 女性:74.4	男性:67.0 女性:74.6				
肥満者の割合	%	男性:32.0 女性:22.9	男性:35.3 女性:22.9	男性:33.5 女性:22.3				
HbA1c7.0%以上の割合	%	4.9	4.5	5.7				
特定保健指導終了率	%	23.0 (令和元年度)	18.4 (令和2年度)	14.7 (令和3年度)				
子育てが楽しい親の割合	%	95.9	96.4	96.3				
睡眠による休養がとれている者の割合	%	男性:75.2 女性:71.2	男性:76.2 女性:73.3	男性:75.1 女性:72.7				

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
1	健康づくり100日チャレンジ事業	2,402	2,321	例年実施している体重測定100日チャレンジに加え、ラジオ体操100日チャレンジを実施した。体重測定は1,066人、ラジオ体操は617人の参加があった。	昨年度開始したラジオ体操100日チャレンジと体重測定100日チャレンジを連結させ、市民が年間を通じて健康づくりを実施する機会とする。
1	健康づくりのつどい	231	214	市民の代表者で構成された実行委員会と協働で3年ぶりに対面で実施した。まだコロナ禍ということで参加人数は200人と以前に比べ少なかったが、健康づくりに取り組んでいる団体紹介なども実施し市民主体の健康づくりの推進の機会となった。	今年度も講演会を実施し、健康づくりの普及啓発を実施する。また、コロナ禍でも健康づくりに取り組んでいる団体を紹介し、市民が主体的に健康づくりに取り組むよう努める。
2	特定保健指導	1,965	3,125	特定保健指導該当率が12.2%と過去5年間で最も高かった。保健指導該当者に対する指導を実施し、特定保健指導初回実施率28.8%で前年度24.7%より指導できた。特に50代の実施率が上がった。	特定保健指導対象者に対して、保健指導を実施し保健実施率及び終了率の向上に努め、生活習慣病の重症化を予防する。

2	運動サポートセンター	5,659	4,109	健診及び検査結果により生活改善が必要となった者に対し運動指導を209日間実施した。 利用実人数109人、延利用人数2,223人	生活習慣病予防対策の運動指導の場として、特定保健指導対象者や生活習慣病の患者として医療機関で管理されている方を対象に個別に利用動奨をし、利用者数を増やすことで、生活改善者数(メタボ改善など)の増加に努める。
		1.6			
3	新型コロナウイルス感染症対策事業	531,477	545,525	感染者が急増する中で、新型コロナウイルス感染症対策専門部会を開催し、保健所等関係機関との連携を図りながら、医療体制の検討を行い、市民への情報提供を実施した。 また、希望する市民が安心して新型コロナワクチン接種ができるよう集団接種、コールセンターでの相談対応等を実施した。	感染症法上の位置付けが5類へ引き下げられたことに伴う必要な対応についての検討を行うとともに、今後の再度の感染拡大等に対応できるよう体制を整備する。また、ワクチン接種については、国の方針に基づき個別接種への移行を進めながらも、希望する市民が新型コロナワクチン接種を受けられる体制を維持する。
		7.0			
4	妊娠・出産・子育てサポート事業	60,765	55,735	妊娠届出時・妊娠8か月頃・赤ちゃん訪問で相談支援と経済的支援を一体的に行うことで、妊産婦と対面で相談する機会が増えた。また、妊産婦がセルフプランを実施することで妊娠・出産・子育てのイメージがしやすくなり、今後の見通しを持つことで必要なサービスに繋がりがやすくなった。	伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することで妊産婦や養育者との面談実施者を増やす。 産後の子育てをイメージし、出産を迎えることができるよう妊娠8か月頃面談者を早期に実施し、産後不安の高い時期に相談支援ができるようにする。
		0.5			
5	食育関連	3,894	200	第4次食育推進計画を策定した。重点目標である朝ごはんの推進や食育の日のPRを実施した。	野菜ファーストやバランスのとれた食事の普及啓発活動を実施する。 食育の地域リーダーである食生活改善推進員などの食育を担う人材育成及びPR活動を推進する。
		0.1			

総括評価	成果	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、教室の回数を減らしたり、健診の受診制限をしていたが、徹底した感染対策のもとで制限を緩和し、ほぼ予定通りに事業を実施することができた。</p> <p>新たに健康大学特別講座(高血圧編)、中学生のHbA1c検査、小児生活習慣病対策委員会を実施し、ライフステージに合わせた生活習慣病の予防に取り組んだ。</p> <p>また、「切れ目ない母子保健の充実」のために、「妊娠・出産・子育てサポート事業」を新たに開始し、妊産婦に対する相談体制を充実させるとともに、経済的支援を拡充することができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としては、関係機関の協力を得て、医療体制の整備、市民への正しい情報提供及び希望する市民への確実なワクチン接種をすることができた。</p>
	課題	<p>がん検診、特定健診受診率の低下により、がんや生活習慣病の発見が遅れることが懸念されるため、受診率向上及び生活習慣病予防の取組みが重要である。</p> <p>核家族化、地域との関係の希薄化により子育ての負担が増加している。切れ目のない支援の充実及び必要な人へ支援の情報が届き、支援を利用できるようにすることが母子保健の課題である。</p>
	今後の方向	<p>医療機関と連携し、健診受診率の向上を図り、保健指導、重症化予防の取組みを推進していく。</p> <p>関係機関や地域と協働で子どもを産み育てやすいまちづくりにするようベビーファースト運動や妊娠・出産・子育てサポート事業など子育て支援を充実させ、市民に必要な情報が届くよう情報発信に努める。</p>